

HYDRGEN
WATCH

HYDRGEN

HYDROGEN とは、1 歩先を行く燃料 (=水素) という意味でネーミングされ、イタリアのラグジュアリースポーツブランドとして 2003 年にデビュー。当時 26 才だった創立者にしてデザイナーでもあるアルベルト・ブレイシによってスタートしました。

取扱上のご注意

■温度について

時計を直射日光にさらしたり高温になる場所、また寒いところ等、温度差の激しい場所に長時間放置しないでください。進み・遅れ等の精度に支障をきたします。常温に戻れば精度は回復しますが、激しい環境は時計の寿命に影響しますので十分にご注意ください。

■ショックについて

ジョギング等の軽い運動程度のショックでは機械に影響ありませんが、キャッチボールやテニス等で生じるショックはできるだけ避けてください。また、落下や激しい接触等のショックは与えないでください。

■磁気について

現代の日常生活においては、身の回りの電磁気製品を発生源とした磁界が多くあります。腕時計の部品には、鋼が多く使われており、その部品が磁気を帯びると、大幅に遅れたり止まったり進んだりします。特に下記のような電磁気製品からは 5cm 以上離してご使用・保管をしてください。磁気帯びは物理的現象であり、時計の故障ではございません。

※時計の磁気を帯び状態

一般的に 5 ガウス未満ならば許容範囲で、精度は維持されると言われております。5 ガウス以上の帯磁があると、精度に狂いが生じると言われております。



■電池交換について

電池寿命は平均約2年ですが、最初の電池は工場出荷時に組み込まれたモニター電池ですので、電池寿命に満たないうちに容量が切れることがあります。電池切れの際は最寄りの時計店にて電池交換を行ってください。但し保証期間内であっても電池は消耗品ですので有料となります。

■裏プタのシールについて

ご購入時に時計の裏プタに添付してあるシールは必ずはがしてご使用ください。シールがついたままでご使用されますとサビが発生することがあります。

■お手入れについて

ケースやブレスレット（革ベルト）等の外装部分は常に人体に触れているため、大変汚れやすい部分です。外装部分に汚れ・汗・水滴がついているときは、吸湿性の良い柔らかな布等で拭き取って清潔にしてください。メッシュブレス・ブレスレットの汚れや目詰まりがひどいときは、水にうすめた石鹸水などにつけて、手や歯ブラシで洗い、その後必ず水洗いを行ってください。金、銀等の貴金属製品は空気に触れることで表面が化学反応をおこし黒く汚れます。汚れたままでご使用されますと衣類等に汚れが付着する場合がありますので、特に清潔な状態を保つようご注意ください。

※この時防水時計以外は時計本体に水がかからないように十分ご注意ください。



- お客様の体質によっては、かゆみ・かぶれが生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じたときはご使用をお止めいただき、専門医にご相談ください。
- 汗や汚れが付着したまま使用しますと、サビなど衣類への汚れの原因になる恐れがあります。また、お手入れをこまめに心掛けてください。
- 力仕事やスポーツをする時、就寝時や幼児の世話をする時など、身体に危害を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

■防水性について

時計修理品として持ち込まれるものの多くに、水没・水の浸食があります。水の浸食による故障のほとんどは、ご使用上の原因によるものと思われます。防水性は年月とともに劣化します。定期的な防水検査をおすすめいたします。(時計の防水性を保つパッキンが長期間の使用により温度や水分や汚れなどの影響を受け、弾力性が失われて防水性が低下するため) 防水時計であっても、その防水性以上の水圧がかかった場合は水の浸食により故障となります。水の浸食による故障は、その大半が修理不能となり保証も適用されません。お持ちの時計の防水性を必ずご確認の上、ご使用には最新の注意を払ってください。

※ねじ込み式リュースは完全に締めてからご使用ください。

ダイビング・水泳・水仕事などでのご使用前にリュースの締め具合を確認してからご使用ください。リュースがゆるい場合には防水機能がきかず、水の浸食の原因になります。

使用例		汗・ねた水滴 がつく程度 (水圧のかわらない状態)	雨や水が かかる程度 (極端な水圧の 変化がない状態)	水泳など 直接水が かかる程度 (プールでの水泳程度)	ダイビング (空気ボンベを 使用しないもの) およびマリ ンスポーツ	水滴が付いた 状態での リュースの操作
仕 様	3気圧・5気圧 (3ATM・5ATM)	○	×	×	×	×
	10気圧 (10ATM)	○	○	×	×	×
	20気圧・30気圧 (20ATM・30ATM・200M・300M)	○	○	○	○	×

クォーツ 2針の使い方

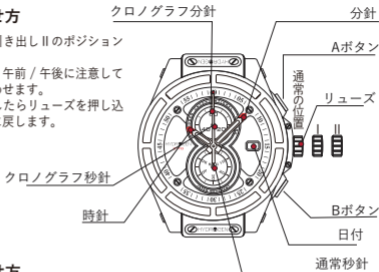
■時刻の合わせ方

1. リュースを1段引き出しIのポジションにします。
2. リュースを回して時針と分針を合わせます。
3. 合わせ終わりましたらリュースを押し込んで通常の位置に戻します。



■時刻の合わせ方

1. リューズを2段引き出しIIのポジションにします。
2. リューズを回し、午前/午後に注意して時針と分針を合わせます。
3. 合わせ終わりましたらリューズを押し込んで通常の位置に戻します。



■日付の合わせ方

1. リューズを1段引き出しIのポジションにします。
 2. リューズを時計回りに回して日付を合わせます。
 3. 合わせ終わりましたらリューズを押し込んで通常の位置に戻します。
- ※午後9時から午前3時までは日付調整を行わないでください。

この時間帯は日付を変更する歯車がかみ合っている時ですので、無理に調整されますと歯車が破損し、正しい時間帯に日付調整が行われなくなることがございます。日付調整をされる時は、必ずこの時間帯に針を動かしてから調整してください。

■クロノグラフの使い方

1. Aボタンを押すと、クロノグラフ秒針が動き計測を開始します。
2. 再度Aボタンを押すと、ストップします。
3. Bボタンを押すとクロノグラフ針がリセットされます。

※この時計は最大59分59秒まで計測ができます。

自動巻き時計の機能的条件

通常自動巻き時計は、日常生活の中で約8時間腕に着けて、歩行や日常生活をすることが必要になっています。運動量が不足している時は、精度が不安定となり、遅れることがあります。その際はリューズを回して、ゼンマイを巻き上げてからご使用ください。

※リューズを巻き上げる回数は各モデルの項目を参照してください。

機械式時計が、突然大幅に進んだり、遅れたり、止まったりする現象について

<制度が大幅に狂う原因>

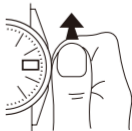
「ヒゲゼンマイ」のからみによる場合が多いといえます。「ヒゲゼンマイ」は大変繊細な部品で、時計が何らかの強い衝撃を受けた場合は、隣接しているパーツにひっかかるか、ヒゲ自体が絡み合ったりします。ヒゲゼンマイは長さによって時間の進み・遅れを調整するパーツですので、ここに異常が起これるととんに大幅な狂いを生じさせます。ヒゲゼンマイの絡みを取り正常な状態に戻せば精度は戻ります。

<ヒゲゼンマイが絡むことが多いケース>

時計自体の落下、腕に衝撃を加えるゴルフ・テニス・野球等のプレイ中に起こりやすい。
あるいはヒゲが磁気を帯びると、ヒゲ自体がくっつきあって大幅な時間の狂いが生じます。

<手でゼンマイを巻く方法>

使い始めや運動量が不足し充分ゼンマイが巻き上がらない場合に使用します。リューズを、12時方向に20～30回位回してください。又、防水タイプのネジ込みリューズの場合は、リューズを6時方向(手前)に回してネジをゆるめてゼンマイを巻いてください。(巻きすぎの必要はありません)



■時刻の合わせ方

1. リューズを1段引き出しIのポジションにします。
2. リューズを回して時針と分針を合わせます。
3. 合わせ終わりましたらリューズを押し込んで通常の位置に戻します。



■時刻の合わせ方

1. リューズを1段引き出しIのポジションにします。
2. リューズを回し、午前 / 午後に注意して時計と分針を合わせます。(24時間針は連動して動きます)
3. 合わせ終わりましたらリューズを押し込んで通常の位置に戻します。



■時刻の合わせ方

1. リューズを2段引き出しIIのポジションにします。
2. リューズを回し、午前/午後に注意して時針と分針を合わせます。
3. 合わせ終わりましたらリューズを押し込んで通常の位置に戻します。



■日付・曜日の合わせ方

1. リューズを1段引き出しIのポジションにします。
 2. リューズを回して日付・曜日を合わせます。
 3. 合わせ終わりましたらリューズを押し込んで通常の位置に戻します。
- ※午後9時から午前4時までは日付調整を行わないでください。この時間帯は日付を変更する歯車がかみ合っている時ですので、無理に調整されますと歯車が破損し、正しい時間帯に日付調整が行われなくなることがございます。日付調整をされる時は、必ずこの時間帯に針を動かしてから調整してください。